

意見提出元	UQコミュニケーションズ株式会社
-------	------------------

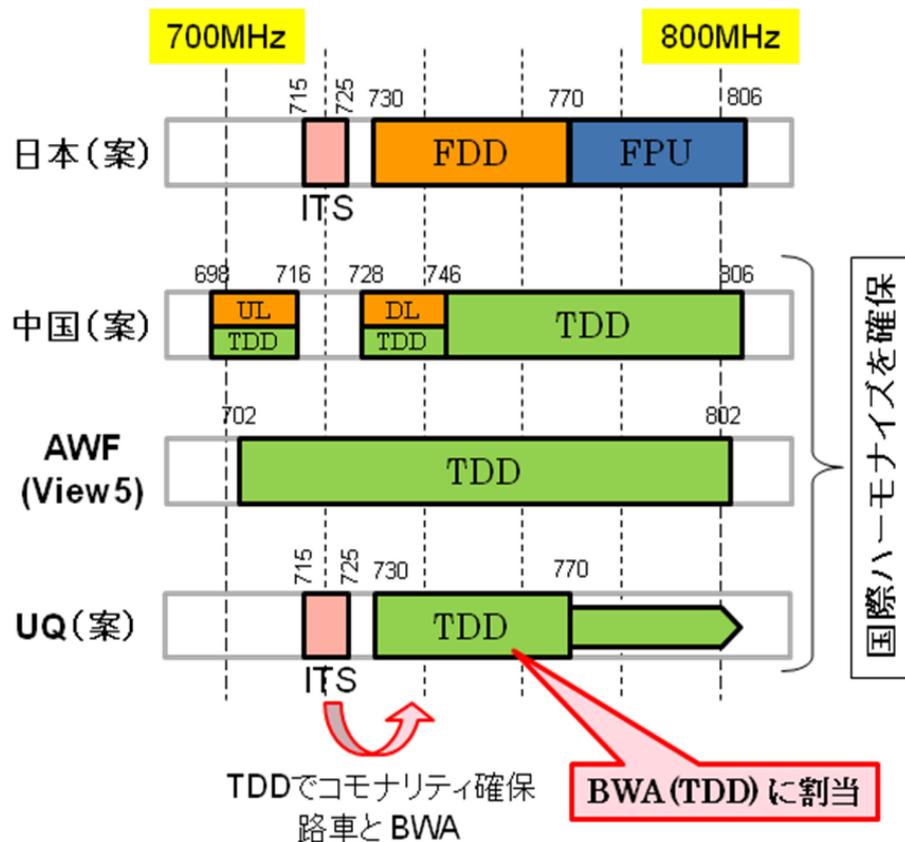
意見項目	意見内容																																
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	<p>現在日本のICT政策の1つとして検討が進められている「光の道」構想の大きな柱が、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年を目途に全世帯に100Mbps以上の超高速ブロードバンドを整備 ・ブロードバンドサービス利用率向上のための施策を実施 <p>であることに即すると、2015年頃のワイヤレスブロードバンドは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年に超高速ブロードバンド基盤を整備するには、「光」だけではなく「ワイヤレスブロードバンド」の活用による整備が必要 ・ブロードバンドサービス利用率向上のためにはワイヤレスブロードバンドで「いつでも、どこでも」「屋外・屋内シームレスに」利用できる環境の整備が必要 ・Non-PC等様々な端末の創出により大容量トラヒックへの対応、高速化ニーズへの対応が必要 ・光ブロードバンドサービスと同等の役割を担うためには目標として光と同レベルの100Mbps以上の超高速ワイヤレスブロードバンドサービスの導入が必要 <p>であると考えます。</p> <p>弊社としては、現在提供しているWiMAX(802.16e)サービス(下り40Mbps、上り10Mbps)を光並サービス(下り330Mbps、上り110Mbps)の提供が可能ならWiMAX 2(IEEE.802.16m)に高度化すること、また、サービスエリアを拡大・充実することにより、日本のICT政策実現の一翼を担いたいと考えています。</p> <p><WiMAXサービスの今後の展望></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>FY</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>2013</th> <th>2014</th> <th>2015</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伝送速度</td> <td colspan="2"> WiMAX Rel. 1.0 [IEEE 802.16e] DL: 40 Mbps UL: 10 Mbps <small>* 10MHz (TDD, DL+UL=2.0) 2x2 MIMO の場合</small> </td> <td colspan="2"> WiMAX Rel. 1.5 [IEEE 802.16-2009] DL: 60+ Mbps UL: 50+ Mbps <small>* 10MHz x 2 (FDD) 2x2 MIMO (DL) 2x2 MIMO (UL) の場合</small> </td> <td colspan="3"> WiMAX Rel. 2.0 [IEEE 802.16m] DL: 300+ Mbps UL: 100+ Mbps <small>* 2 carrier x 20MHz (TDD, DL+UL=2.0), 4x4 MIMO (DL) 2x2 MIMO (UL) の場合</small> </td> </tr> <tr> <td>エリア展開</td> <td> 政令指定都市、 県庁所在地 </td> <td> 全国主要都市、市街地、主要路線/道路 </td> <td> 郊外地域、地下街、その他 </td> <td colspan="4"> 700MHz帯 FDDによる 効率的なエリア展開 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> 人口カバー率90%超 </td> <td></td> <td></td> <td> 光の道実現 </td> </tr> </tbody> </table>	FY	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	伝送速度	WiMAX Rel. 1.0 [IEEE 802.16e] DL: 40 Mbps UL: 10 Mbps <small>* 10MHz (TDD, DL+UL=2.0) 2x2 MIMO の場合</small>		WiMAX Rel. 1.5 [IEEE 802.16-2009] DL: 60+ Mbps UL: 50+ Mbps <small>* 10MHz x 2 (FDD) 2x2 MIMO (DL) 2x2 MIMO (UL) の場合</small>		WiMAX Rel. 2.0 [IEEE 802.16m] DL: 300+ Mbps UL: 100+ Mbps <small>* 2 carrier x 20MHz (TDD, DL+UL=2.0), 4x4 MIMO (DL) 2x2 MIMO (UL) の場合</small>			エリア展開	政令指定都市、 県庁所在地	全国主要都市、市街地、主要路線/道路	郊外地域、地下街、その他	700MHz帯 FDDによる 効率的なエリア展開								人口カバー率90%超			光の道実現
FY	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015																										
伝送速度	WiMAX Rel. 1.0 [IEEE 802.16e] DL: 40 Mbps UL: 10 Mbps <small>* 10MHz (TDD, DL+UL=2.0) 2x2 MIMO の場合</small>		WiMAX Rel. 1.5 [IEEE 802.16-2009] DL: 60+ Mbps UL: 50+ Mbps <small>* 10MHz x 2 (FDD) 2x2 MIMO (DL) 2x2 MIMO (UL) の場合</small>		WiMAX Rel. 2.0 [IEEE 802.16m] DL: 300+ Mbps UL: 100+ Mbps <small>* 2 carrier x 20MHz (TDD, DL+UL=2.0), 4x4 MIMO (DL) 2x2 MIMO (UL) の場合</small>																												
エリア展開	政令指定都市、 県庁所在地	全国主要都市、市街地、主要路線/道路	郊外地域、地下街、その他	700MHz帯 FDDによる 効率的なエリア展開																													
				人口カバー率90%超			光の道実現																										

<p>(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題</p>	<p>現在弊社が提供しているWiMAXをWiMAX 2に高度化するためには、例えば20MHzのように広帯域な周波数が必要であると考えます。</p> <p>具体的には、既存割当周波数に連続してモバイル放送株式会社撤退後の空き周波数の20MHzを割当て頂くことが、既存割当周波数とのガードバンドを不要とし、周波数有効利用の観点から最適な選択であると考えます。</p> <p>なお、WiMAX 2導入後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行WiMAXサービスとの互換性を確保 ・現在の割当周波数帯域との併用により周波数を有効利用 ・将来的には現行の割当周波数を含めてWiMAX 2化することにより効率的に超高速サービスを提供 <p>とすることが可能であると考えます。</p> <p><2.5GHz帯BWA用周波数の割当て></p>
<p>(3) 関連する国内外の動向と課題</p>	

(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する課題

現在の2.5GHz帯周波数は屋外基地局からの屋内浸透による屋内カバーには限界があり、また、今後は郊外地域や不採算地域でのエリア拡大が主となるため効率的なエリア選定、エリア設計が必要になることから、屋内浸透に優れ、効率的な基地局配置が可能である700MHz帯をBWA(TDD)方式でも利用できるように割当て頂きたいと考えます。

<700MHz帯BWA用周波数の割当て>



以上